

令和 6 年度修了式式辞

3学期の始業式で、「終わり良ければ全て良し」という言葉についてお話ししました。結果はどうあれ、最後まで走りきること。それが、失敗・挫折の克服に絶大な効力があるというお話ししました。皆さん、この3学期、走り切れましたか？

なぜ走りきると良いのかというと、走りきったら気分がいいですね。ちゃんとやれた、という満足感が生まれます。そうすると「次もがんばろう」というプラスの気持ちが出てくる。

人間いつもいつも順風満帆でいられるわけではない。どこかで失敗・挫折するのが普通なのです。ところが、失敗・挫折を引きずり、もうだめだと、走るのをやめてしまう人がいる。そうなるともう「次もがんばろう」と思えなくなってしまう。

失敗・挫折はあるものだと考えましょう。大事なのは、「次もがんばろう」と立ち直ること。次につなげること。

「最後まで走りきる」ことは、実は「立ち直る」ための技術、テクニックなのです。今回走りきれなかったなという人、次は是非走りきって「終わり良ければ全て良し」の感覚を味わってください。

1年間、お疲れ様でした。

令和 7 年 3 月 26 日(水)
校長 伊藤文一